

子どもの力を信じる

美術教育を通じた子どもたちへの眼差し
関連イベント

研修講座

「絵から学ぶ こどもの真実」

8月19日(火)

参加費・無料



講師・大橋 功氏

岡山大学大学院教育学研究科准教授。
元大阪市中学校教諭。専門は美術教育、教師教育。

第1部…10:00-11:00 対象・一般(展示会場にて)

こどもの作品を前に、「素敵ね!」「上手だね!」と感激することは良くありますが、一方で、「画面に小さく描いているのは心が萎縮しているから?」「実物と違うかたちや色を使うのは未熟だから?」「なんだか見栄えがしない」などと感じることも少なくないでしょう。しかし、こどもは本来おとなを感激させたり、喜ばせたりするために描いているわけではありません。ましてや見栄えの事など考えません。(最近では、先生や親のイメージをこどもを使って表現させようとするような「描画法」が流行っていたりもしますが、これらは、こどもの発達や育ち、絵を描いたりものをつくることの教育的な意義を忘れて、あるいは理解できずに、おとなの価値観を押しつけてしまっているのに過ぎません。)

当日は、実際に展示されている作品を通して、こどもの表現と育ちについて、科学的なこども理解に基づいてお話いたします。

第2部…11:00-12:30 対象・教育関係者(座学)

私たちは、ともすれば美術教育をめぐるいくつかの勘違いをしています。ひとつは、いつのまにか、こどもを使って自分のイメージを描かせようとする勘違い。その背景には「このように描かせたい」「このように描かせるべきだ」という作品の完成イメージを強く持ちすぎているということがあります。いまひとつは、技術指導をするとこどもの創造性を阻害するという勘違い。自由にのびのびとといながら放任放縦し、こどもが自分の思いをかたちにする力を育てそこなっているのです。

当日は、会場の作品をはじめとした具体的な事例を基に、こどもの発達や成長に根ざした美術教育の指導のありかたについて考えます。

会場

西堀榮三郎記念
探検の殿堂
<http://tanken-n.com>

滋賀県東近江市横溝町419
休館日:月曜、祝日の翌日
電話:0749-45-0011
IP:0505-802-2291
FAX:0749-45-3556

